

製品外観



- (A) 180° 可変式レンズ (D) 動作ランプ (G) リセット穴
(B) 赤外線LEDライト (E) microSDスロット
(C) 電源スイッチ (F) USB Type-C ポート

注意

- * microSDカードが未挿入・未対応・不良の場合、正常なランプ点灯の確認ができません。
- * 防犯カムカムが推奨しているメーカーまたは防犯カムカム純正のmicroSDカードをご使用ください。
- * パソコンに接続してもデータを読み込まなかったり、本体を認識しない場合は、microSDカードをカードリーダーを使用、またはPCに直接接続してご確認ください。
- * 本製品はメーカー側の都合により、一部デザインや製品仕様および機能、付属品の内容やランプの点灯色が異なったり等、予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

■充電方法

1. 付属のUSBケーブルを、(F)に繋ぎ、パソコンやACアダプター(DC-5V 1A/2A)等に接続。
2. (D)が、オレンジ点灯 → 紫点灯 → オレンジ点灯 (充電中) → 消灯 (充電完了)

※充電はmicroSDカードを抜いた状態で行ってください。
※充電後は、過充電を避ける為、本体を取り外してください。
※故障の原因となりますので、急速充電器(ケーブル含む)は使用しないでください。

■電源を入れる前に

十分に容量が空いたmicroSDカード(別売)を(E)に挿入。
※破損を防ぐため、microSDカードの抜き差しは丁寧に行ってください。
※本体電源が入った状態でmicroSDカードを抜き差ししないでください。カードが壊れたり、中のデータが壊れる場合があります。(カード自体やデータの復旧・保証はいたしかねます。)

■充電しながらの録画

本体をモバイルバッテリーやACアダプター(DC-5V 1A/2A)等の外部電源に繋ぐことで充電中の操作が可能になります。

■電源ON

1. (C)を、約2秒長押し。
2. (D)が、紫点灯 → 青点灯 (電源ON & 撮影待機状態)

■電源OFF

1. 撮影待機中に、(C)を約2秒長押し。
 2. (D)が、消灯 (電源OFF)
- ※待機状態で操作が約1分間ない場合、自動で電源がOFFになります。

■動画撮影

1. 撮影待機状態で、(C)を短く1回押し。
 2. (D)が、青点滅 (動画撮影開始)
- ※録画中は青点滅が続きます。
3. 撮影中に、(C)を短く1回押し。
 4. (D)が、青点灯 (動画撮影終了 & 撮影待機状態)
- ※5分毎のファイルが作成されます。

■リセット

爪楊枝のような先の細いもので(G)を押す。(リセット完了)
※正常に動作しない場合はリセットをお試しください。

■撮影ファイルの確認方法

- 1.電源OFFの状態、撮影ファイルが保存されたmicroSDカードを本体に挿入。
- 2.付属のUSBケーブルを(F)に繋ぎ、パソコンに接続。
- 3.パソコンがリムーバブルディスクを自動で認識。
- 4.リムーバブルディスク内に保存されたファイルをパソコンに移行。
- 5.パソコンに保存したファイルを確認。

※録画したファイルはできるだけパソコンへ移行したうえで閲覧してください。移行しない状態で再生した場合に起こる、ブロックノイズの発生や再生不可を改善できます。

※パソコンに認識しない場合は、microSDカードを直接パソコンに接続、またはカードリーダー等で読み込んでください。

※映像が映らない、音声がでない、フリーズ等ございましたら再生するメディアプレーヤーをGOM Player、VLC Media Playerへ変更してください。

■レンズの上下の向き



映像が反転します。

■赤外線LEDライト

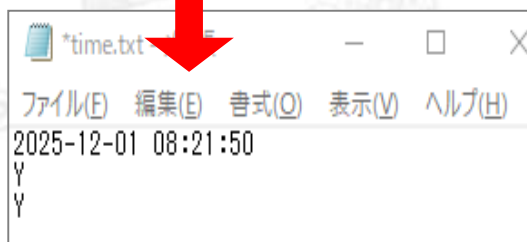
暗くなると、自動的に赤外線機能がONになります。

■タイムスタンプ/その他設定

- 1.micro SDカードをカードリーダーを使用、または直接パソコンに接続。リムーバブルディスク内に「time」が自動生成されているのを確認。

※自動生成されていない際は「time」テキストファイルを作成してください。

time.txt



- ①年-月-日 時:分:秒(半角)
- ②タイムスタンプ : Y(表示) / N(非表示)
- ③上書き録画 : Y(ON) / N(OFF)

- 2.①日時の変更および、②③を「Y」または「N」に変更し、上書き。

- 3.上書き変更したら、保存してカメラ本体をパソコンから取り出し、撮影を行うと変更が反映されて完了。

※設定変更前の撮影データは変更されません。

※設定後もTIMEファイルを開くと、設定前の古い日時が表示されますが問題ございません。

※microSDカードを交換、フォーマットされた場合は、再度タイムスタンプ設定が必要です。

MEMO